



中央地区社会教育情報誌「つなぐ」No.47号をお届けします。今号では、令和3年度（4月～12月）に行われた中央地区関連の事業について紹介します。

市町村教育委員会社会教育計画訪問 10月7日～11月29日

中央地区9市町村を9日間掛けて訪問させていただきました。この時期、秋田県では県民全体のコロナワクチン接種率（2回目）が80%を超え、感染が沈静化し、県の感染警戒レベルが引き下げられていましたが、中央地区では例年2時間程度でお願いしている訪問時間を90分に短縮し、かつ with コロナの新しい取組としてオンラインによる訪問も市町村の希望で取り入れてみました。

実際の訪問の際は、各市町村ともお忙しい中、快く受け入れてくださりありがとうございました。中央地区訪問担当者として各市町村の現状や実態、課題等をお聞きすることができました。

各市町村訪問日時と協議課題等について一覧にまとめました。来年度の訪問の参考にしてください。

【※はオンライン訪問】

市町村名	訪問日時	市町村協議課題
井川町	10月7日(木) 13:00～15:00	地域人材の発掘と育成について（統括的な役割を担う人材への委嘱）
五城目町	11月4日(木) 13:30～15:00	地域人材の発掘と学校との連携について
男鹿市	11月9日(火) 13:30～15:00	地域と学校が協働で行う活動について
八郎潟町	11月10日(水) 10:30～12:00	コロナ禍における社会教育事業の進め方と成人式の在り方について
由利本荘市	11月11日(木) 10:30～12:00 ※	読書活動推進のための取組と課題
大潟村	11月16日(火) 14:00～15:30	大潟村公民館図書館の利活用
潟上市	11月25日(木) 14:00～15:30 ※	第4次潟上市生涯学習計画について
にかほ市	11月26日(金) 10:00～11:30	次期生涯学習・社会教育計画の策定と地域学校協働活動推進員について
秋田市	11月29日(月) 10:00～11:30	地域課題や現代的課題を意識した学習機会の提供を図るための方策について

読み聞かせボランティア養成講座 8月9日(月)・10日(火) in 県立図書館

秋田市が連日35℃に迫る酷暑を記録していた8月、県立図書館を会場に2日間にわたって「読み聞かせボランティア養成講座」を行いました。この講座は、「幼少期から生涯にわたって読書に親しむことができる環境の整備を目指し、絵本等の読み聞かせを行う人材を養成する」ことを目的に、毎年実施しているもので、対象は高校生から一般の方々。講師は秋田市を中心に活動している読み聞かせグループ「あきたおはなしスタート」の皆さんです。

講座には2日間で高校生19名、一般13名の計32名の参加があり、「滑舌をよくするトレーニング」「よい絵本の選び方」「読み聞かせ時の絵本の持ち方やページのめくり方」等読み聞かせの初歩から入り、実際の読み聞かせの仕方を、講師の皆さんからマンツーマンで指導していただきました。

講座終了時には、受講者全員に修了認定証が授与されました。今後各家庭や学校、公立図書館等で読み聞かせボランティアとして活躍してくれることを期待しています。



受講者の感想(研修アンケートから)

- ◆読み聞かせを今回初めて体験しました。聞き手が絵本の世界に入り込んで楽しんでもらえるように文を切ったり声を変えたりといった工夫が必要であると知りました。もっともっと読み聞かせについて知り、そして経験してみたいなと実感しました。参加することができて本当に嬉しかったです！ありがとうございました。
- ◆人前で読むのが苦手で自信がありませんでした。「何度も絵本を読み込むことで自信が付く」と教えていただき勉強になりました。0歳児に読むことが多く、反応がなく難しいと感じることもばかりだったけれど少し考え方が変わりました。
- ◆昔話を通して秋田弁に触れることができ、楽しかったです。初めて絵本を読み、楽しさと難しさを感じました。家でも練習して、いっぱい絵本を読んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

ビブリアバトル

秋田大会 10月16日(土)
in フォンテAKITA内ふれあーるAKITA
由利本荘大会 10月17日(日)
in 由利本荘市文化交流館カダーレ

発表者がお薦めの本の魅力を5分間で紹介し、2～3分間のディスカッションの後、聞いていた人たち全員で「一番読みたくなった本」(チャンプ本)を投票で決める「知的書評ゲーム」ビブリアバトル in AKITA の秋田大会と由利本荘大会が、それぞれフォンテ AKITA 内のふれあーる AKITA と由利本荘市文化交流館カダーレで開催されました。

参加したのは秋田市や由利本荘市・にかほ市の中学生7名(秋5、由2)、高校生13名(秋9、由4)。それぞれに自分が選んだお薦めの本を、制限時間を一杯に使って表現力豊かに紹介していました。

それぞれの地区大会でチャンプ本に選ばれた中学生・高校生各1名ずつは、11月23日(勤労感謝の日)に秋田拠点センターアルヴェきらめき広場で開催された秋田県大会に出場し、全国決勝大会への出場権をかけて、各地区の代表者たちと書評合戦を交わしました。



秋田県大会の結果を県のHP「美の国秋田ネット」で紹介しています。上のQRCからアクセスできます。

中央地区放課後支援者研修会

12月7日(火)
in 県生涯学習センター

放課後子ども教室、放課後児童クラブ、家庭教育支援チーム、市町村行政担当者等を対象とした標記の研修会が県生涯学習センターを会場に開催されました。当日は午前中のみ日程ながら、中央地区各市町村から70名を超える参加者がありました。

研修①

テーマ：創作活動「子どもと一緒に石けんデコパージュ」

講師：大潟村生涯学習奨励員女性部の皆さん

研修の前半は、大潟村生涯学習奨励員女性部の皆さんを講師とした創作活動「石けんデコパージュ」づくりに取り組みました。デコパージュとは、石けんや石、身近な道具などに専用の薄紙を専用ボンドで貼り付けてデコレーションする創作活動です。大潟村生涯学習奨励員女性部の皆さんが、材料や主な用具などを豊富に準備してくれてのおかげで、初めてデコパージュを体験する参加者でも、自分の思いの素敵な作品を時間内に仕上げることができました。

研修②

テーマ：「子ども・保護者への対応や日常の業務に対する情報交換」

後半は参加者が4～5人の小グループに分かれ、上記のテーマで情報交換を行いました。日頃様々な子どもたちや保護者の方々に直に接している参加者の方々に、短い時間ながらも活発に協議や情報交換が行われていました。



受講者の感想(研修アンケートから) ◆創作活動 ◇情報交換

- ◆短時間で簡単にできるので、学年に関係なくみんなで楽しめる活動だと思う。身近にあるような紙を工夫して切り取り、同じ紙を使ってもそれぞれ違った作品になるので、子どもたちが考えながら作る良い行事になると思う。
- ◆いつもは企画する側だが、逆の立場(企画を受ける側)となり体験させてもらうことで、自分の企画の手順等について再考察ができ、参考になりました。ありがとうございました。
- ◇どこの学童、児童館もそれぞれ違った大変さがあるのが分かりました。他の学童などのコロナ対策の方法を聞くことができてよかったです。
- ◇保育士や学童の先生方とのお話の中で、放課後子ども教室での子どもの接し方など、資格をもっている人からのアドバイスをいただけて、大変参考になりました。